

●ロシア(極東)

2019年上半期の経済成長

9月9日に発表されたGDP(国内総生産)第1次速報値によると、2019年の第2四半期におけるロシアの対前年同期比GDP成長率は0.9%増であった。ロシア経済は、油価の低下や国際経済制裁などの影響によって、2015年第1四半期から2016年第1四半期にかけてマイナス成長を経験したが、2016年第2四半期から現在に至るまでの13四半期(3年強)において緩やかな成長を続けている。ロシア連邦国家統計庁(ロススタット)は、2019年第2四半期の成長の原動力が採掘部門、輸送・倉庫、金融・保険における付加価値の増加にあったと評価している。とはいえ、成長率は、2018年の同時期の半分以下へと低下しており、ロシア経済は低迷している状態にある。

2019年上半期の状況を見ると、GDP成長率は0.7%増であり、この内の半分の0.4%ポイントが採掘部門(寄与率は49.7%)、0.3%ポイントは金融・保険(同46.6%)、0.2%ポイントは輸送・倉庫(同28.8%)における付加価値の増大による(『社会経済情勢2019年9月』)。同期間のこれら3部門の付加価値増減率は、それぞれ3.8%増、7.8%増、3.0%増であった。一方で、商業部門の付加価値増加率は0.2%減であり、寄与率はマイナス33.4%であった。2018年上半期において製造業(同15.8%)、商業(同14.2%)、行政・国防(同12.7%)が成長部門であった状況とは対照的である。

さらに、2019年上半期の状況を支出面

GDPに基づいて見ると、成長の促進要因となったのは家計消費(対前年同期比2.4%増、寄与率144.4%)であり、輸出(同2.4%減、同マイナス77.8%)と固定資本形成(同0.7%減、同マイナス22.2%)が成長の抑制要因となっている状況が見てとれる。輸出の減少は、欧州向け石油パイプライン「ドルジバ」において有機塩素化合物による原油の汚染が見つかり、輸送が停止されたことに関係している。また、昨年の生産の不振により小麦の輸出が減少したことも輸出の減少の背景にある。加えて、「2024年までのロシア連邦発展国家目標と戦略的課題」に基づき13分野にわたって実施されている国家プロジェクトの実施の遅れによる投資の停滞や、世界経済の低迷が影響しているとみられる。会計検査院の報告によると、連邦財政による2019年1-6月の国家プロジェクト実施への支出は5588億ルーブル、予算の32.4%であり、これは支出全体の実施状況の平均42.5%を下回っている¹。

上記の経済成長全般に関係する個別の状況を、より詳細に確認していこう。

まず鉱工業生産は、2019年上半期に対前年同期比で2.6%増、1-9月に2.7%増を記録した。これは前年の実績を若干下回る(2018年上半期・1-9月ともに3.0%増)。産業部門別に上半期および1-9月の生産の増減率(括弧内は前年)を見ていくと、採掘部門はそれぞれ4.0%増(1.9%増)および3.6%増(2.9%増)、製造業はそれぞれ1.9%増(4.0%増)および2.2%増(3.3%増)、電力・ガス・蒸気・熱供給はそれぞれ0.0%(1.9%増)および0.8%増(1.6%増)、水供給業・下水処理・廃棄物

管理・浄化活動はそれぞれ1.5%増(2.1%減)および1.4%増(0.0%)であり、採掘部門が成長をリードしていることが確認できる。

1-9月の採掘の生産増減率は、石炭1.0%増、原油・天然ガス3.0%増、金属5.8%増、その他3.4%増、関連サービス13.3%増であった。一方で、同期間の出荷額の増減率は、石炭2.0%減、原油・天然ガス0.9%増、金属31.0%増、その他11.6%減であり、生産の状況とは乖離が見られる。

製造業の生産指数(2019年1-9月、対前年同期比)を見ると、医薬品17.2%増、機械・設備の修理・組み立て10.0%増、金属製品8.7%増、コンピューター・電子機器・光学機器7.6%増、木材・木材製品6.9%増といった部門で生産量が大きく増大し、出荷額の伸び率も高い。一方で、その他輸送機器15.2%減、タバコ13.0%減、機械・設備製造0.5%減などの分野において不振が見られる。

2019年上半期の固定資本投資は6兆6959億ルーブル、対前年同期比(実質)で0.6%増となった。投資は前年上半期の4.3%増から大きく減速し、停滞状態にある。固定資本投資の構成を見ると、2018年上半期に48.0%を占めていた建物(住宅を除く)のシェアが2019年上半期には42.9%へ低下し、12.3%を占めていた財政支出(連邦、地方、自治体、予算外基金)による投資のシェアが10.1%へと減少した。他方、民間の借入資金(銀行信用、共有持ち分建設用の住民・組織の資金、外国投資)による投資は、16.0%から19.4%へシェアを伸ばした。

家計部門に関して、小売売上高を見ると、2019年上半期および1-9月の対前年

¹ 会計検査院、2019年上半期報告:<http://audit.gov.ru/promo/analytical-report-federal-budget-2019-2/index.html>。

同期比増減率（実質）は、1.8%増および0.8%増であり、前年の2.9%増および2.8%増を下回った。また、実質貨幣可処分所得は、2018年第4四半期に2.0%減を記録し、2019年第1四半期および第2四半期において2.5%減および0.1%減と減少（上半期で1.3%減）したが、第3四半期に3.0%増と回復した。この期間に賃金所得や社会給付の実質増があったにもかかわらず、実質貨幣可処分所得が減少した背景には、事業所得や資産所得が減少し、義務的支払の額が増大したことがある²。また、2019年初から実施された付加価値税の引き上げの影響もあって、2019年第1四半期および第2四半期の消費者物価の対前年同期比増減率も5.2%増および5.0%増と前年の2倍（2018年にはそれぞれ2.2%増および2.4%増）のテンポで上昇したことも影響している。とはいえ、2019年9月における前年12月比の消費者物価指数は2.3%

であり、一桁台の低いインフレ率が維持されている。

2019年第2四半期および上半期における貿易額（名目）の変化は、対前年同期比で輸出が9.3%減および4.0%減、輸入が3.6%減および3.2%減というように停滞が見られる。1バレル当たりの原油価格（ブレント種）は前年第2四半期が74.5ドルであったのに対して、2019年第2四半期は68.9ドルと低下している。

2019年の経済成長見通し

本稿執筆時点（2019年11月1日現在）では、2019年の第3四半期のGDP統計に関するロススタットの発表はまだない。経済発展省は、第3四半期において、ロシア経済の成長は対前年同期比1.9%増（9カ月間で1.2%増）へと加速化し、その背景には、国内需要が十分ではないにもかかわらず、鉱工業と農業の生産が好調で

あったため、在庫が積み増しされたという一時的な要因があると見ている。なお、第4四半期に関しては、経済が停滞し、成長率が1.4～1.5%に低下するという予測が示されている。

2019年全体に関する諸機関の成長見通しを見ると、信用格付け会社のムーディーズは、2019年の成長予測を1.6%から1.2%へと引き下げ、ズベルバンクは1%程度と予測している。また、OECDも9月に0.5ポイント引き下げ0.9%という予測を示し、世界銀行は10月初めに1.2%から1.0%へと予測を引き下げた。ロシア国内では、経済発展省が1.3%、ロシア中央銀行は0.8～1.3%という予測を示している。さらに、ロシア連邦政府もまた2019年通年の成長率が1.3%という前提で、2020～2022年の3カ年予算案を提出している³。

ERINA 調査研究部研究主任
志田仁完

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
GDP・実質成長率 (%) ⁽¹⁾	3.7	1.8	0.7	▲ 2.3	0.3	1.6	2.3
GDP (名目) (注1)	68164	73134	79058	83094	86014	92101	103876
固定資本投資・実質増減率 (%) ⁽²⁾	6.8	0.8	▲ 1.5	▲ 10.1	▲ 0.2	4.8	4.3
鉱工業生産高・実質増減率 (%) ⁽³⁾	3.4	0.4	2.5 [1.7]	▲ 0.8 [▲ 3.4]	2.2 [1.1]	2.1	2.9
小売売上高・実質増減率 (%) ⁽⁴⁾	6.3	3.9	2.7	▲ 10.0	▲ 4.8	1.3	2.8
実質貨幣可処分所得・増減率 ⁽⁵⁾	4.6	4.0	▲ 0.7	▲ 3.2	▲ 5.8	▲ 1.6	0.1
消費者物価 (%) ⁽⁶⁾	6.6	6.5	11.4	12.9	5.4	2.5	4.3
工業生産者物価 (%) ⁽⁷⁾	5.1	3.5	6.3	12.1	7.5	8.4	11.7
輸出額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁸⁾	524.7	527.3	497.8	343.5	285.8	357.8	449.6
輸入額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁸⁾	317.2	315.0	286.7	182.7	182.3	227.5	238.5
為替相場 (ドル/ルーブル) ⁽⁹⁾	30.4	32.7	56.3	72.9	60.7	57.6	69.5
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) ⁽¹⁰⁾	111.6	108.6	99.0	52.3	43.6	54.1	71.3

	2017			2018			2019		
	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q
GDP・実質成長率 (%) ⁽¹⁾	1.5	2.5	2.3	1.9	2.2	2.2	0.5	0.9	
GDP (名目) (注1)	20644	21972	23795	22438	24824	27127	24487	26188	
固定資本投資・実質増減率 (%) ⁽²⁾	6.3	5.6	4.6	3.8	4.6	6.4	0.5	0.6	
鉱工業生産高・実質増減率 (%) ⁽³⁾	2.9	4.5	2.5	2.8	3.2	2.9	2.1	3.0	2.9
小売売上高・実質増減率 (%) ⁽⁴⁾	▲ 1.6	0.9	2.0	2.7	3.1	2.7	1.9	1.6	0.8
実質貨幣可処分所得・増減率 ⁽⁵⁾	0.1	▲ 0.7	▲ 1.0	1.4	1.1	0.2	▲ 2.5	▲ 0.1	3.0
消費者物価 (%) ⁽⁶⁾	4.6	4.2	3.4	2.2	2.4	3.0	5.2	5.0	4.3
工業生産者物価 (%) ⁽⁷⁾	13.2	10.4	7.7	5.2	7.1	10.3	9.9	9.7	6.7
輸出額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁸⁾	83.7	84.8	85.9	103.0	110.2	112.2	104.6	100.0	-
輸入額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁸⁾	45.4	56.3	61.1	54.7	61.0	60.1	53.2	58.8	-
為替相場 (ドル/ルーブル) ⁽⁹⁾	58.2	57.5	58.8	56.4	62.5	65.5	65.5	64.3	64.8
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) ⁽¹⁰⁾	53.7	49.7	52.1	66.8	74.5	75.2	63.2	68.9	61.9

² なお、『ロシア社会経済情勢 2019年3月』以降、ロススタットは新しい方法で実質貨幣可処分所得を推計している点に注意しておく（後掲表の注5も参照）。ロススタットウェブサイト：https://www.gks.ru/free_doc/new_site/rosstat/itog-1kv.htm。

³ ロシア経済発展省、「ビジネス展望 2019年10月」：<http://economy.gov.ru/minec/about/structure/depMacro/>；ジェトロ、ビジネス短信、2019年10月24日：<https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/10/6c676d7e75132663.html>；「経済と生活」紙、2019年10月25日：<https://www.eg-online.ru/news/409466/>；「ロスバルト紙」、2019年10月31日：<https://www.rosbalt.ru/business/2019/10/31/1810822.html>。

	2017								
	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q
GDP・実質成長率 (%) ⁽¹⁾	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GDP (名目) (注1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
固定資本投資・実質増減率 (%) ⁽²⁾	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉱工業生産高・実質増減率 (%) ⁽³⁾	5.6	▲ 0.3	3.5	3.2	6.9	3.4	0.2	4.0	3.5
小売売上高・実質増減率 (%) ⁽⁴⁾	▲ 2.0	▲ 2.8	0.0	0.3	1.1	1.4	2.6	0.4	3.1
実質貨幣可処分所得・増減率 ⁽⁵⁾	9.0	▲ 3.1	▲ 3.2	▲ 7.1	0.3	0.5	▲ 2.6	▲ 1.0	▲ 0.2
消費者物価 (%) ⁽⁶⁾	0.6	0.8	1.0	1.3	1.7	2.3	2.4	1.8	1.7
工業生産者物価 (%) ⁽⁷⁾	3.3	4.1	3.8	2.2	1.8	1.4	0.9	2.4	4.9
輸出額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁸⁾	25.9	26.1	31.7	26.3	28.5	30.0	25.1	29.6	31.2
輸入額 (10万ドル、通関データ) ⁽⁸⁾	12.9	14.7	17.8	17.4	18.9	20.1	20.0	21.6	19.5
為替相場 (ドル/ルーブル) ⁽⁹⁾	60.2	57.9	56.4	57.0	56.5	59.1	59.5	58.7	58.0
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) ⁽¹⁰⁾	54.6	54.9	51.6	52.3	50.3	46.4	48.5	51.7	56.2

	2018								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
GDP・実質成長率 (%) ⁽¹⁾	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GDP (名目) (注1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
固定資本投資・実質増減率 (%) ⁽²⁾	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉱工業生産高・実質増減率 (%) ⁽³⁾	2.4	3.2	2.8	3.9	3.7	2.2	3.9	2.7	2.1
小売売上高・実質増減率 (%) ⁽⁴⁾	3.0	2.1	3.0	3.2	2.9	3.4	2.8	3.0	2.3
実質貨幣可処分所得・増減率 ⁽⁵⁾	▲ 7.4	3.4	4.2	4.8	▲ 0.3	▲ 0.4	1.6	▲ 2.0	▲ 3.6
消費者物価 (%) ⁽⁶⁾	0.3	0.5	0.8	1.2	1.6	2.1	2.4	2.4	2.5
工業生産者物価 (%) ⁽⁷⁾	0.2	1.2	0.3	1.5	5.5	9.1	9.4	9.7	11.1
輸出額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁸⁾	34.0	32.0	37.0	36.5	36.9	36.8	34.6	38.1	39.5
輸入額 (10万ドル、通関データ) ⁽⁸⁾	15.6	18.4	20.7	19.9	20.6	20.5	20.4	20.8	18.9
為替相場 (ドル/ルーブル) ⁽⁹⁾	56.3	55.7	57.3	62.0	62.6	62.8	62.8	68.1	65.6
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) ⁽¹⁰⁾	69.1	65.3	66.0	72.1	77.0	74.4	74.3	72.5	78.9

	2019								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
GDP・実質成長率 (%) ⁽¹⁾	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GDP (名目) (注1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
固定資本投資・実質増減率 (%) ⁽²⁾	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉱工業生産高・実質増減率 (%) ⁽³⁾	1.1	4.1	1.2	4.6	0.9	3.3	2.8	2.9	3.0
小売売上高・実質増減率 (%) ⁽⁴⁾	2.0	2.1	1.7	1.8	1.5	1.6	1.1	0.8	0.7
実質貨幣可処分所得・増減率 ⁽⁵⁾	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消費者物価 (%) ⁽⁶⁾	1.0	1.5	1.8	2.1	2.4	2.5	2.7	2.4	2.3
工業生産者物価 (%) ⁽⁷⁾	▲ 2.0	▲ 1.9	▲ 1.1	▲ 0.6	1.2	0.6	▲ 2.0	▲ 2.6	▲ 2.8
輸出額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁸⁾	32.4	35.2	37.0	35.6	32.1	32.3	33.6	34.2	-
輸入額 (10万ドル、通関データ) ⁽⁸⁾	15.6	17.6	20.1	20.7	18.9	19.2	21.4	21.0	-
為替相場 (ドル/ルーブル) ⁽⁹⁾	66.1	65.8	64.7	64.7	65.1	63.1	63.4	66.5	64.4
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) ⁽¹⁰⁾	59.4	64.0	66.1	71.2	71.3	64.2	63.9	59.0	62.8

(1) 年次成長率は2019年4月2日更新値、四半期別成長率は2019年9月9日更新値である。

(2) 年次データは2019年3月7日更新値、四半期データおよび年次データは『ロシア社会経済情勢(2019年7月)』の数値である。

(3) 2013年までの数値は全ロシア経済活動分類 (OKVED)・第1.1版(2018年3月8日更新)である。2014年以降の数値はOKVED・第2版の産業部門分類に基づく。年次データは2019年4月17日更新値および2016年以降は2019年10月18日更新値。2014～2016年の括弧内の数値は旧分類に基づく増減率。2018年以降の四半期・月次データは、『ロシアの社会経済情勢(2019年5月)』および『ロシアの短期経済指標(2019年9月)』の数値。

(4) 『ロシアの短期経済指標(2019年9月)』。2014年の増減率ではクリミア共和国とセバストポリ市が考慮されていない。

(5) 2017年までの年次データはUISISデータ(2019年10月31日更新値)である。旧版(2019年6月18日更新、ERINA REPORT PLUS No. 149)から2014～2017年のデータが改訂されている。旧系列のデータでは、2014年0.7%減、2015年3.2%減、2016年5.8%減、2017年1.6%減であった。2017～2019年の月次データは『ロシアの短期経済指標(2019年9月)』。2018年の月次データ(斜体の数値)はロススタット・ウェブサイト(2019年6月18日更新の旧系列)のデータであり、2019年の月次データは2019年1月1日現時点では発表されていない。

(6) 年次および月次データは、前年12月比(2019年10月08日更新値)。四半期データは、対前年同期比の増減率(2019年10月08日更新値)。

(7) 2012年以前の数値はOKVED(2017年2月2日更新値)、2013年以降の数値はOKVED・第2版に基づく国内市場の物価指数(UISISデータ:2019年10月17日更新)。年次および月次データは前年12月比、四半期データは基づく対前年同期比。

(8) UISISデータ(2019年10月29日更新値)。

(9) 年次・月次データは、期末の数値。四半期は3か月平均値。『ロシアの短期経済指標(2019年9月)』。

(10) スポット価格。四半期データは、月次データの平均値。アメリカ合衆国エネルギー省(2019年10月30日更新値)。

(出所) ロシア連邦国家統計庁(ロススタット)ウェブサイト最新値; 『ロシアの社会経済情勢(2019年1月:3月:4月:5月:9月)』、『ロシアの短期経済指標(2019年9月号)』(ロシア連邦国家統計庁); 省庁間統一情報統計システム(UISISデータベース)